























































































町指定文化財（昭和51年指定）

供利松木（トゥムイマテキ）

供利松木は、本島最古の自生松といわれ、樹高15m幹回り38mの琉球赤松であった。当時、船舶の近海航行の目標となり、遠征探知も果し、神の昇降する梯子とわが言はれ、近くにはジニグ神の依石がある。現在ここに生えている松は、かつての供利松木の子木である。

与論町教育委員会









































































































































































